

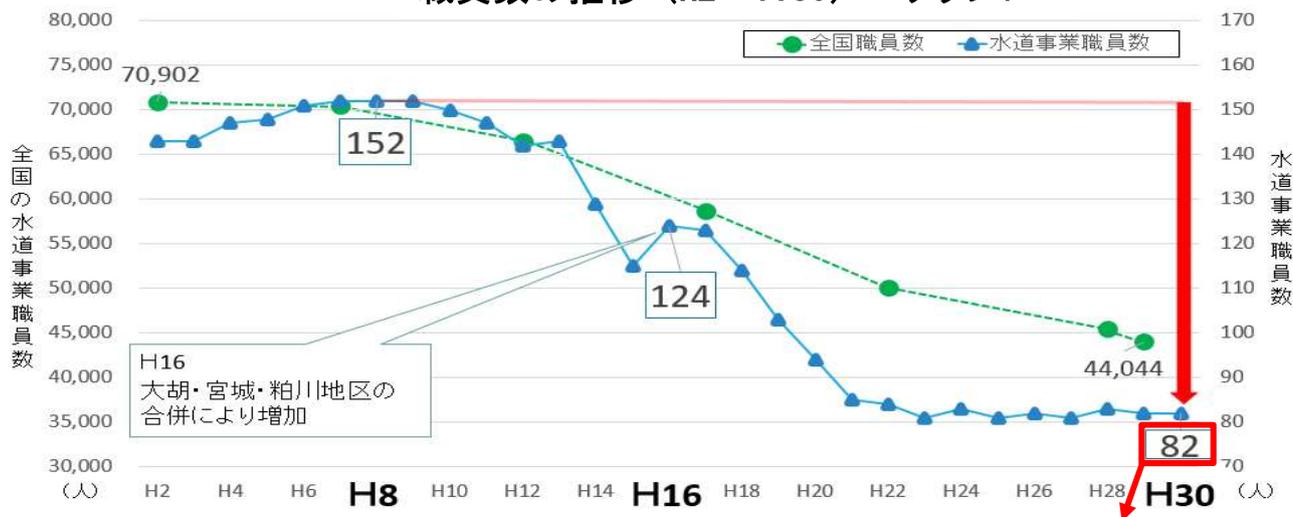
# 水道局のこれまでの経営努力について

前橋市の水道事業では、平成11年の料金改定から約20年間、下記の取り組みにより料金改定を行うことなく比較的安価な料金で水道事業を運営してまいりました。

## ■ これまでの取り組み

### (1) 職員数の削減

職員数の推移 (H2~H30) グラフ1



**H8のピーク時より70人(46%)職員数を減少**

#### ・職員数

組織名	職員数
経営企画課	20人
浄水課	20人
水道整備課	42人
<b>合計</b>	<b>82人</b>

※中核市内で9番目に少ない

#### ・管路延長(管の長さ)

管路名	管路延長
導水管	46.72km
送水管	25.44km
配水管	2,501.93km
<b>合計</b>	<b>2,574.09km</b>

※中核市内で12番目に長い

#### ・施設数

施設名	施設数
浄水場	36カ所
配水場	24カ所
受水場	8カ所
<b>合計</b>	<b>68カ所</b>

※浄水場が中核市内で3番目に多い

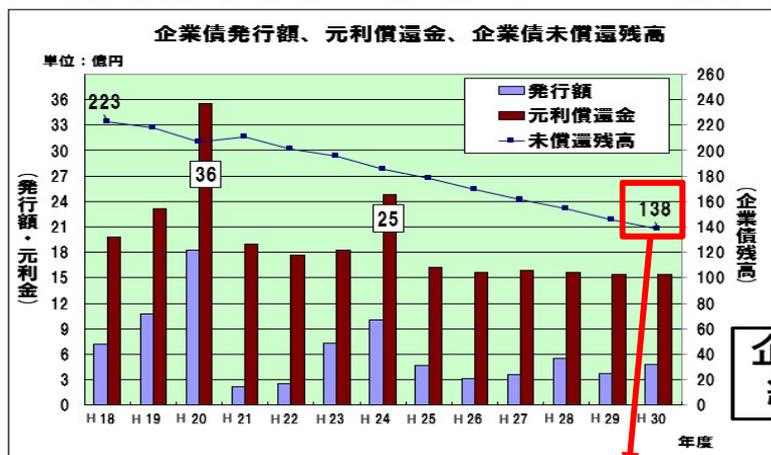
【参考】中核市の数：53市（八戸市、越谷市、八王子市、高松市は除く）

職員数は少ないが、水道施設は多い

⇒ 限られた職員で施設の維持管理を行ってきた

## (2) 企業債残高の削減

### 企業債残高等の推移 (H18~H30) グラフ2



H20：元利償還金36億円  
(うち補償金免除繰上償還に係る借換債13億円)  
H21：富士見村合併により未償還残高15億円増加  
H24：元利償還金25億円  
(うち補償金免除繰上償還に係る借換債7億円)

企業債の残高を12年間で約38% (約85億円) 削減

H30残高：約138億円 (中核市平均：約186億円) ※中核市で19番目に少ない

### 企業債発行額と支払利息 (企業債利息) の推移 グラフ3



H20とH24に企業債の利息を安いものに借り換えたことで支払利息を約20%減少させた。

支払利息を20年間で約68% (約6.2億円) 削減

【企業債の発行額の抑制】 【借り換えによる利息削減】 により企業債残高を削減  
⇒ 企業債に依存しない事業運営を行ってきた

## (3) 民間委託の推進

効率的な事業運営と給水サービス向上を実現するため、経費節減の視点から、事業の委託化を推進してきた。

実施状況

- 平成14年度から水道料金等収納業務の民間委託を開始
- 平成19年度から浄水場監視業務等の民間委託を開始

また、漏水調査業務においては、令和元年度より直営で実施することで、経費の削減、漏水箇所の発見数の増加につながった。

直営として技術継承すべきもの、民間委託が可能なものを見極め経費削減  
⇒ 費用対効果を考慮して、民間委託の可能性を検討してきた